MOVE THE WORLD FORWARD

MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP





三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社

交通・機器事業部

三菱重工

事業部概要

社　　名	三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社（略称/MHI-TC） MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES TRANSPORTATION AND CONSTRUCTION ENGINEERING, LTD.
本 社 所 在 地	〒108-8015 東京都港区芝五丁目33番11号
交通・機器事業部 所在地	〒729-0393 広島県三原市糸崎南一丁目1番1号
サービス部 東京事務所	〒210-0824 神奈川県川崎市川崎区日ノ出二丁目16番20号
サ ー ビ ス セ ン タ ー	北海道、千葉、羽田、名古屋、関西、広島、九州、鹿児島、沖縄

事業内容

輸送機器の設計製作からアフターサービス

ホームドア、パッセンジャーボーディングブリッジ（旅客搭乗橋）

電気・電子制御システムの企画・開発設計・製作からアフターサービス

電子回路&プリント基板の開発設計・プリント基板&制御装置の製造、画像処理システム等

港湾輸送機器・一般産業機械・環境化学機器の設計製作からアフターサービス

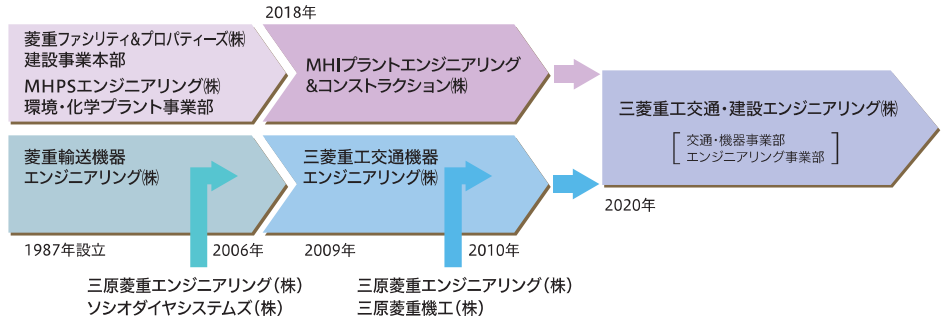
穀物用アンローダ、繊維梱包装置、IT関連特殊プレス、製紙機械、ガス/ガスヒーター、燃料ガス加温減圧装置、高温高圧熱交換器等

三菱重工 交通システムのエンジニアリング及びアフターサービス

交通システム・モノレール、鉄道車両用エアブレーキ装置、確認車、鉄道保全車両等



沿革



事業部方針

環境への取り組み

交通・機器事業部は、環境保全への取り組みを事業経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、環境負荷低減に努めるとともに、持続可能な社会の発展に貢献します。

行動指針

1. 環境管理体制を構築し、設定した環境目的および目標を確実に実施、評価、改善することにより、環境マネジメントシステムの継続的な向上に努めます。
2. 環境関連法規、条例、協定等を遵守するとともに、必要に応じて自主管理基準を定めて運用、評価し環境管理の向上に努めます。
3. 環境負荷低減に貢献する技術と製品の開発およびサービスを社会に提供します。
4. 製品の開発、設計、調達、製作、運転、据付、販売、サービスから廃棄に至るすべての事業活動において、汚染の防止、省資源、省エネルギー、廃棄物の発生抑制、再利用、リサイクル等、環境保全および環境負荷低減に努めます。
5. 環境教育、訓練、広報活動を通じて社員の環境意識の向上を図り、環境問題に関心を持ち模範的行動がとれる人材を育成します。
6. 地域社会の一員であることを認識し、環境保全のための社会活動に積極的に参加します。
7. 環境方針など環境保全活動の情報公開に努め、社会から信頼される企業を目指します。

2023年7月1日

三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社
代表取締役 常務執行役員
交通・機器事業部長　松原 修身

品質への取り組み

交通・機器事業部（以下「事業部」）は、顧客第一の信念のもと、顧客満足の達成を事業活動の基本目標として、次の基本方針を定めます。

基本方針

1. 法令、契約、規格、標準等を満たすことおよび品質不正予防を確実にするため、リスクの洗い出し、教育の実施、内部監査の実施、報告制度の周知を徹底します。
2. 顧客の要求事項および法令・規則要求事項に適合するために、品質マネジメントシステムを確立し、これを実行・継続し、その有効性を継続的に改善します。
3. 事業部としての品質目標を定め、その品質目標を具現化するために、部門ごとの責任・機能を生かした品質目標を定め実行します。
4. 定期的に実施するマネジメントレビューにおいては、品質方針の見直しを行い、その適切性を維持するとともに、品質マネジメントシステムの有効性が維持され、継続的に改善されていることを確認します。
5. 事業部の品質方針は、従業員に周知し、顧客満足を理解させることにより、有効な活動につなげます。
6. すべての部門長は、自部門および他部門との相互関係における品質保証に関係するすべての業務を、品質マネジメントマニュアルに従って遂行します。
7. すべての部門長は、品質方針に基づいた品質改善システムを設定し、そのサイクルを回して、これを定期的に見直すとともに、その達成度とマネジメントレビュー等の実施により、品質マネジメントシステムの有効性の継続的改善を実施します。

2025年4月1日

三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社
代表取締役 常務執行役員
交通・機器事業部長　松原 修身

鉄道駅ホームでの乗客の安全性を確保

ホームドア

駅ホームからの転落・車両との接触事故から乗客の安全を守ります。ドア数の異なるタイプの車両や
自動運転のない（ATO/TASC未導入）路線にも対応した画期的なホームドアを提供します。
当社が持つ土木・建築部門との一貫体制により、ホーム診断や床面段差解消施工などのご提案が可能です。



当社ホームドアの特長

One Stopでの事業管理体制

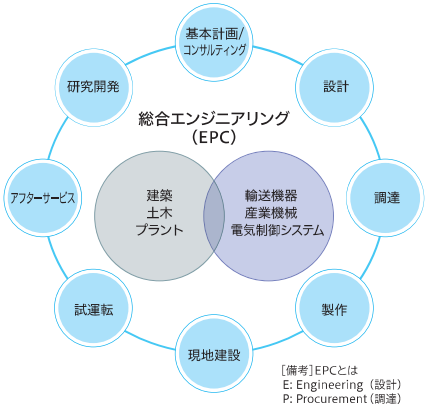
当社はホームドアの設計・製造・電気/土木・建設工事・アフターサービスを一括して対応できる“One Stop事業管理体制”を構築しており、工事管理を含めて全ての業務の窓口一元化を図っています。
ホームドア機器製作/据付のみならず駅改修工事なども対応可能です。

異なる車両ドアへの対応

ドア数の異なるタイプの車両に対し、多段ドア併用等により幅広い路線への対応が可能です。

地上完結型簡易連携システム

車両を改造することなく、地上設備のみで車両ドア開閉タイミングに合わせてホームドアの扉を自動開閉できるシステムを提供します。



［備考］EPCとは
E: Engineering（設計）
P: Procurement（調達）
C: Construction（建設）の略称

多段ドアホームドア





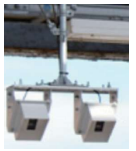
地上完結型連携システム



地上完結型連携システムは、お客さまの仕様によって、3種のセンサによる制御を行い、複数車両の判別、車両数の認識、停止位置の確認等、適正なホームドアの開閉位置管理を行っています。

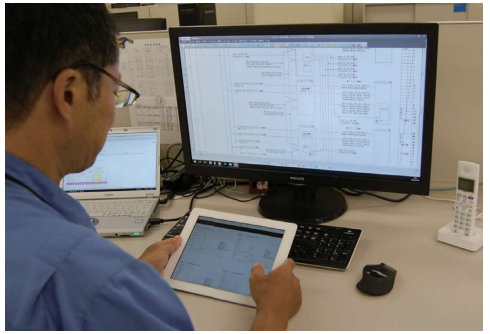

停止位置検知センサ


ドア開閉検知センサ


在線検知センサ

保守点検サービス




リモート操作によるメンテナンス

空港・港湾での乗客の安全性と快適性を提供
旅客搭乗橋ーPassenger Boarding Bridge(PBB)

Tradition Inspires Innovation

■長年磨き上げた熟練の技術を活かし、高品質なPBBをお届け致します。
■お客様のご要望に応え、最新技術を搭載しております。　(1)完全自動装着システム　(2)自走式舶用旅客搭乗橋
■国内各地にサービスメンテナンス拠点を設けており、日常よりお客様に寄り添い、緊急時には迅速な対応が可能であり、安全・安心・快適をお約束致します。

航空機用ーMitsubishi Aero Bridge (MAB)

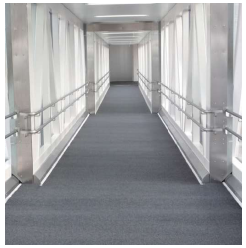
フルフラットMAB

フルフラット型MABは、これまで構造上避けられないと考えられていたトンネル間に生じる段差を独自の新機構の導入により解消。大小のトンネル通路床を継ぎ目のないフルフラット（シームレス）構造とし、乗客の安全性と快適性を提供します。



東京国際空港国内線

段差のない床構造を実現



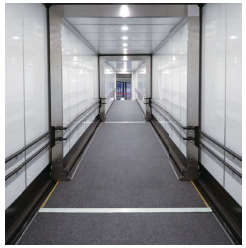
ユニバーサルデザインMAB

ユニバーサルデザイン型MABは、トンネル重なり部の段差を最小限に抑えることで、渡り板の傾斜を極めて緩やかにし、フルフラット型MABと遜色のない構造を実現しています。



新千歳空港MAB

渡り板の先端を薄くして
車いすの押力を軽減



小型機対応MAB

ロングトンネルを採用し、小型機(プロペラ機)にも緩やかに装着します。

(第12回 国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰受賞)



宮崎ブーゲンビリア空港

船舶用ーMitsubishi Marine Bridge (MMB)

自走式MMB



ターミナルから分離独立し、自動走行機能を備えた船舶用MMBです。
船の舷門とターミナルの装着位置を自由に調整でき、多様な種類のクルーズ船等に対応可能です。
オートレベリング機能により潮の満ち引きや船の荷重変化に自動追従します。

横浜港大さん橋国際客船ターミナル

エプロンドライブ式MMB



舷門位置が異なる複数船舶に対応可能になります。
自走式MMBと同様にオートレベリング機能を搭載しています。

苫小牧西港フェリーターミナル

低床MAB

1階ターミナルから直接航空機ドアへの接続が可能です。



隠岐世界ジオパーク空港

高品質と安全性のニーズに豊富な経験と技術力で対応

電気・電子制御システム

各種制御装置や画像・センサ技術を応用したシステムの企画・開発設計・製作からアフターサービスを行います。

エレクトロニクス製品の開発・製造・アフターサービス

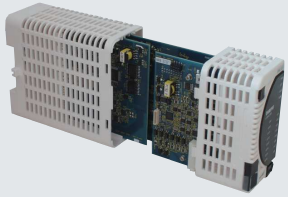
豊富な経験を通じて蓄積した信頼性の高い電子回路設計及びソフトウエア技術を生かし、
各種制御基板の開発設計を行い自社工場で製造、納入後のアフターサービスまで一貫して行います。



産業機械用制御基板



キネマティックGPS受信機



DCS用制御モジュール

輸送・産業機械用制御盤

各種機械制御用の制御盤・操作盤の設計・製造を行います。







旅客搭乗橋自動装着システム

オートドッキング機能（自動装着機能）、ツインオートドッキング機能（2基連動同時自動装着機能）、
リモートドッキング機能（遠隔操作装着機能）の「完全自動装着システム」が完成しました。
完全自動運転を見据えた、次世代ハンドリング業務の高度化・効率化へ向けて大きく前進します。



成田国際空港との共同開発により、旅客搭乗橋「完全自動装着システム」が完成

画像処理・AIシステム

画像処理・各種センサ技術を駆使して、革新的なシステムを開発・提供します。

ホームドア用安全センサ



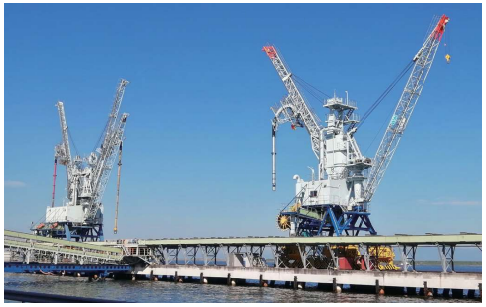
野菜選別装置



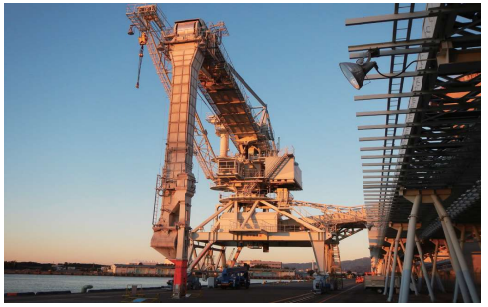
機器（港湾輸送機器・一般産業機械・環境化学機器）

高品質と安全性のニーズに応え、設計・製作から現地工事S/Vまで、豊富な経験と技術力で対応します。

港湾輸送機器



ニューマチック式アンローダ



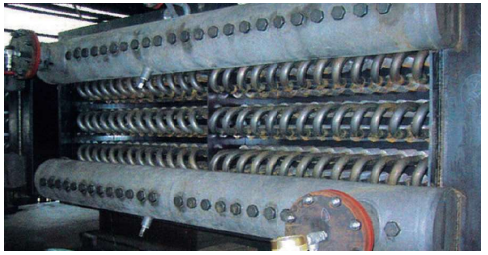
機械式アンローダ

一般産業機械



梱包機

環境化学機器



ガス・ガスヒーター

交通システムの円滑な運行と乗客の安全性を確保

三菱重工 交通システム・空制装置

交通システムの円滑な運行と乗客の安全確保のためにアフターサービスを提供します。



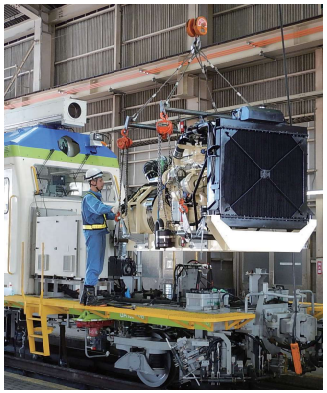
懸垂型モノレール（千葉都市モノレール）



モノレール車両点検



新交通軌道設備保守点検



確認車・保全車の保守点検

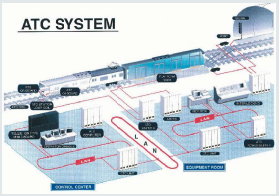
エンジニアリング

交通システム全般のエンジニアリング及び各種要素技術を提供します。

交通システム構成



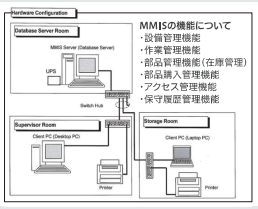
列車運行管理システム



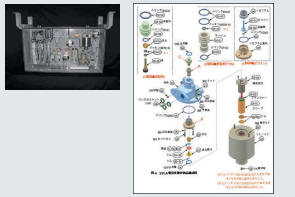
3D-CADによる車体外観・内装の設計



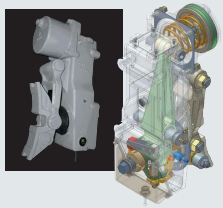
MMIS (Maintenance Management Information System)



ブレーキ制御装置の構造設計



ユニットブレーキの構造検討



三菱重工

三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社

交通・機器事業部

〒729-0393 広島県三原市糸崎南一丁目1番1号

TEL（0848）67-7340（代表）

https://www.mhi.com/jp/group/mhitc/

2026年11月